

---

中央大学大学院 過去問題集

**経済学研究科**

2025 年度入試

---

一般入試

外国人留学生入試

社会人特別入試

行動する知性。

 **中央大学**

# 経済学研究科 博士前期課程・博士後期課程

○印：出題があり掲載している科目

■印で示した試験問題等は、相当期間前（5～10年程度前）に実施した入学者選抜に係るものであり、現在の入学者選抜における位置づけや大学院教育に求められる内容の変化等を踏まえ、これらを補足なく直ちに掲載した場合、現在の選抜方針と乖離が生じる可能性があります。受験生の皆さんに誤解が生じないように、現時点では■印に関する試験問題等の掲載は行わず、まずは2025年度に当該研究科の入学者選抜を実施していない旨を明示し公表いたします。その上で、過去の試験情報の位置づけや現在の選抜方針との関係が受験生に適切に伝わるよう、必要な注記や説明の付し方を含めた公表方法を整理し、準備が整い次第、順次公表いたします。

なお、著作物からの引用箇所は、著作権の関係から非公開としております。

年度別掲載順	研究科	専攻	課程	科目名	入試方式	2025年度	ページ
1	経済学	経済学	博士前期	ミクロ経済学	一般入学試験（秋季）	○	1
2	経済学	経済学	博士前期	ミクロ経済学	外国人留学生入学試験（秋季）		
3	経済学	経済学	博士前期	ミクロ経済学	一般入学試験（春季）	○	
4	経済学	経済学	博士前期	ミクロ経済学	外国人留学生入学試験（春季）		
5	経済学	経済学	博士前期	マクロ経済学	一般入学試験（秋季）	■	
6	経済学	経済学	博士前期	マクロ経済学	外国人留学生入学試験（秋季）		
7	経済学	経済学	博士前期	マクロ経済学	一般入学試験（春季）	○	3
8	経済学	経済学	博士前期	マクロ経済学	外国人留学生入学試験（春季）		
9	経済学	経済学	博士前期	統計学・計量経済学	一般入学試験（秋季）	■	
10	経済学	経済学	博士前期	統計学・計量経済学	外国人留学生入学試験（秋季）		
11	経済学	経済学	博士前期	統計学・計量経済学	一般入学試験（春季）	■	
12	経済学	経済学	博士前期	統計学・計量経済学	外国人留学生入学試験（春季）		
13	経済学	経済学	博士前期	ポリティカルエコノミー	一般入学試験（秋季）	■	
14	経済学	経済学	博士前期	ポリティカルエコノミー	外国人留学生入学試験（秋季）		
15	経済学	経済学	博士前期	ポリティカルエコノミー	一般入学試験（春季）	■	
16	経済学	経済学	博士前期	ポリティカルエコノミー	外国人留学生入学試験（春季）		
17	経済学	経済学	博士前期	経済学史	一般入学試験（秋季）	○	5
18	経済学	経済学	博士前期	経済学史	外国人留学生入学試験（秋季）		
19	経済学	経済学	博士前期	経済学史	一般入学試験（春季）	■	
20	経済学	経済学	博士前期	経済学史	外国人留学生入学試験（春季）		
21	経済学	経済学	博士前期	経済史	一般入学試験（秋季）	■	
22	経済学	経済学	博士前期	経済史	外国人留学生入学試験（秋季）		
23	経済学	経済学	博士前期	経済史	一般入学試験（春季）	○	6
24	経済学	経済学	博士前期	経済史	外国人留学生入学試験（春季）		
25	経済学	経済学	博士前期	会計学	一般入学試験（秋季）	○	7
26	経済学	経済学	博士前期	会計学	外国人留学生入学試験（秋季）		
27	経済学	経済学	博士前期	会計学	一般入学試験（春季）	○	
28	経済学	経済学	博士前期	会計学	外国人留学生入学試験（春季）		
29	経済学	経済学	博士前期	経営学	一般入学試験（秋季）	■	
30	経済学	経済学	博士前期	経営学	外国人留学生入学試験（秋季）		
31	経済学	経済学	博士前期	経営学	一般入学試験（春季）	■	
32	経済学	経済学	博士前期	経営学	外国人留学生入学試験（春季）		
33	経済学	経済学	博士後期	英語	一般入学試験	○	9
34	経済学	経済学	博士後期	ドイツ語	一般入学試験	■	
35	経済学	経済学	博士後期	フランス語	一般入学試験	■	
36	経済学	経済学	博士後期	経済学	外国人留学生入学試験	■	

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

科目名
ミクロ経済学

実施時期
秋季

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は3枚です。

※解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を問題番号欄に記入すること。

問1 効用関数  $U(x_1, x_2) = 4\sqrt{x_1} + x_2$  を持つ消費者を考える。ただし、簡単化のために  $x_2$  は負の量も取り得るとする。また、所得水準  $m$  を固定する。このとき、以下の問題に答えなさい。

1.  $p_2 = 1$  として一般の効用最大化問題を解き、第一財の需要関数  $D(p_1) = f_1(p_1, 1, m)$  を求めなさい。
2. 方程式  $x_1 = D(p_1)$  を解いて逆需要関数  $P(x_1)$  を求めなさい。
3. 上記の逆需要関数を前提として、費用関数  $c(x_1) = x_1$  を持つ独占企業の利潤最大化問題を解き、独占供給量とそのときの価格を求めなさい。

問2 一生産物、二生産要素の生産者を考え、生産要素1の投入量を  $x$  で、生産要素2の投入量を  $y$  で表し、生産量を  $z$  で表す。生産関数は  $z = x^{\frac{1}{2}}y^{\frac{1}{4}}$  で与えられているとする。また、生産要素1の価格は1、生産要素2の価格は4で固定されているとする。以下の問題に答えなさい。

1. 短期の問題を考え、生産要素2は固定生産要素とする。与えられた水準  $y = 1$  の下で費用最小化問題を解いて、短期の費用関数  $c(z)$  を求めなさい。
2. 生産物の価格を  $p$  とするとき、利潤関数  $\pi(z) = pz - c(z)$  を最大化する  $z$  を求めて、短期の供給関数  $z(p)$  を計算しなさい。
3. 長期の問題を考えたときの費用最小化問題を解き、長期の費用関数  $C(z)$  を求めなさい。さらに、利潤関数  $\Pi(z) = pz - C(z)$  を最大化する  $z$  を求めて、長期の供給関数  $Z(p)$  を計算しなさい。

問3 逆需要関数  $P(X) = a - 3X$  が与えられている市場を考え、 $n$ 名の生産者がそれぞれ費用関数  $c_i(x_i) = cx_i + F$  を持っているとする。ただし  $a > c$  を仮定する。このとき、以下の問いに答えなさい。

1.  $n = 2$  とする。クールノー・ゲームのナッシュ均衡を求めなさい。
2.  $n = 3$  とする。クールノー・ゲームのナッシュ均衡を求めなさい。
3.  $a = 10, c = 4$  とする。ナッシュ均衡での各企業の利潤が正になる最大の  $n$  が2であるための  $F$  の条件を求めなさい。

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
春季

科目名
ミクロ経済学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は3枚です。

※解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を問題番号欄に記入すること。

問1 なんらかの変数 $x, y$ の間に関数で与えられた関係 $y = g(x)$ があるとき、 $y$ の $x$ に関する弾力性を

$$\left| \frac{dy}{dx} \frac{x}{y} \right| = \left| \frac{g'(x)x}{g(x)} \right|$$

で定義する。この用語法の下に、以下の問いに答えなさい。

1. 需要曲線を表す式 $x = D(p) = \frac{1}{p}$ が与えられているとする。需要 $x$ の価格 $p$ に関する弾力性を求めなさい。
2. 次の効用関数 $U(x_1, x_2) = \sqrt{x_1} + \sqrt{x_2}$ を考える。与えられた価格と所得の組 $p_1, p_2, m > 0$ の下でラグランジュの一階条件を解き、変数 $X = \frac{p_1}{p_2}$ と $Y = \frac{x_2}{x_1}$ の間の関係 $Y = g(X)$ を与える関数 $g(X)$ を求めなさい。
3. 上の問題の $Y$ の $X$ に関する弾力性（代替の弾力性）を求めなさい。

問2 消費財 $c$ と余暇 $\ell$ について消費者の効用関数が $U(c, \ell) = c\ell$ で与えられているとする。このとき、以下の問題に答えなさい。

1. 消費財の価格を1に固定し、賃金を $w$ とする。所得 $m$ が外生的に与えられているとき、予算制約 $c + w\ell = m$ の下で通常効用最大化問題を解いて需要関数 $f_c(w, m), f_\ell(w, m)$ を計算しなさい。
2. この消費者の消費財の初期保有は0とし、時間16を所有しているとする。時間は労働 $L$ と余暇 $\ell$ のいずれかにすることが可能であり、消費者は所得 $m = wL$ を得てそれを消費財の購入に充てることが可能である。以上を念頭に置いて、所得が内生化した消費者の需要関数 $F_c(w), F_\ell(w)$ を求めなさい。
3. 生産者は労働 $L$ を与えられると消費財 $C = 2\sqrt{L}$ を生産することができるとする。生産者の利潤最大化問題を解いて最適労働需要 $L^*(w)$ を導出し、均衡賃金 $w^*$ を求めなさい。ただし、生産者の利潤はこの市場に参加しない別の消費者が受け取るものとする。

問3 逆需要関数 $P(x) = 60 - x$ が与えられた経済を考える。以下の問いに答えなさい。

1. 生産者の費用関数が $c_1(x) = x^2$ で与えられているとする。均衡価格 $p^*$ と均衡取引量 $x^*$ を求めなさい。
2. 生産者が独占企業だったと仮定し、独占価格 $p^+$ とそのときの取引量 $x^+$ を求めなさい。
3. 政府が運営する第二の生産者が現れ、この生産者は価格に関係なく $x = 20$ を生産するとする。このとき、元々いた独占企業の利潤を最大化し、価格 $p'$ と消費者の最終消費量 $x'$ を求めなさい。

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
春季

科目名
マクロ経済学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は2枚、解答用紙は2枚です。

※解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を問題番号欄に記入すること。

## 問 1

次のような IS-LM モデルを考える。

財市場の均衡条件:  $Y = C + I + G$

消費関数:  $C = 0.5(Y - T) + 50$

投資関数:  $I = 200 - 10r$

貨幣市場の均衡条件:  $\frac{M}{P} = M^D(Y, r)$

貨幣需要関数:  $M^D(Y, r) = 100Y/r$

名目貨幣供給量:  $M = 1000$

価格水準一定の仮定:  $P = 1$

実質政府支出:  $G = 100$

租税:  $T = 100$

内生変数の定義は以下の通りである:

$C$ : 実質民間消費支出、 $Y$ : 実質国内総生産、 $I$ : 実質民間投資支出、 $r$ : 実質利子率。

- (1) IS 曲線を表す方程式を求め、そのグラフを図示せよ。
- (2) LM 曲線を表す方程式を求め、そのグラフを図示せよ。
- (3) 均衡実質国内総生産と均衡実質利子率の値を求めよ。
- (4) 市中消化の原則に基づき国債発行を行い、その財源を使って実質政府支出を30増やして  $G = 130$  にしたとする。このとき、クラウディング・アウトによって失われた実質民間投資支出の大きさを求めよ。
- (5) この財政出動  $\Delta G = 30$  によるクラウディング・アウトを軽減するために、財政出動と金融緩和政策を同時に行ういわゆるポリシーミックスを行ったとする。この時、実質民間投資支出を一切変化させないためには、貨幣供給量をどれだけ変化させる必要があるか。その大きさ  $\Delta M$  を求めよ。

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
春季

科目名
マクロ経済学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

## 問 2

マクロの生産関数が  $Y(t) = K(t)^{0.2}(A(t)L(t))^{0.8}$ 、資本蓄積方程式が  $\dot{K}(t) = I(t) - 0.05K(t)$  で与えられているソローモデルを考える。 $t$  は時間を表す変数で、 $0$  から  $+\infty$  に向けて連続的に増加していく。変数の定義は次のとおりである：

$Y(t)$ : 国内総生産、 $K(t)$ : 資本ストック、 $A(t)$ : 技術水準、 $L(t)$ : 労働人口、貯蓄率を5% とし、以下の問いに答えよ。

- (1) 国内総生産の成長率  $\frac{\dot{Y}(t)}{Y(t)}$  が3.6%、労働人口の成長率  $\frac{\dot{L}(t)}{L(t)}$  が2%、資本ストックの成長率  $\frac{\dot{K}(t)}{K(t)}$  が2% のとき、技術進歩率  $\frac{\dot{A}(t)}{A(t)}$  は何%になるか。成長会計恒等式を使って求めよ。
- (2) いわゆる learning by doing と知識の外部性を考慮し、労働生産性  $A(t)$  が資本ストック  $K(t)$  の増加関数であると仮定する： $A(t) = K(t)$ 。労働人口が  $L(t) = 1$  のように一定であるとき、長期経済成長率  $\frac{\dot{Y}(t)}{Y(t)}$  を求めよ。
- (3) 前問 (2) の設定の下で、貯蓄率が増加すると、長期経済成長率  $\frac{\dot{Y}(t)}{Y(t)}$  はどのように変化するか。簡単な理由とともに解答せよ。

## 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
秋季

科目名
経済学史

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

※解答する問題番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること。

次の2問のうち1問を選んで解答しなさい。

1. マルサスの人口の原理とそれが貧困分析においてもつ意味について詳しく説明しなさい。
2. ホブソンの経済学と帝国主義分析について説明しなさい。

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
春季

科目名
経済史

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の3問のうち1問を選択して解答しなさい。解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

問1

イギリス産業革命における、農業革命の意義について論じなさい。

問2

十九世紀末の日本の綿工業の動向について論じなさい。

問3

以下の近代日本における国内貯蓄に関するデータを元に、当時の日本経済の成長には金融的、あるいはマクロ経済的にどのような特徴があると言えるか論じなさい。

表 近代日本の国内貯蓄構成比

(非公開)
-------

資料) 江見康一他『長期経済統計5』(1988) 東洋経済新報社、表3-1a、表3-2から作成

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
秋季

科目名
会計学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は 1 枚、解答用紙は 2 枚です。

次の問 1～問 3 のうち、問 1 は必ず解答しなさい。また、問 2 および問 3 の中から 1 問を選択して解答しなさい。解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を問題番号欄に記入すること。

問 1 (必答) . 会計のタイプと機能に関して、マイクロ会計およびマクロ会計がどのようなものかを含め説明しなさい。なお、説明の際に、以下のキーワードを必ず使用すること。

<キーワード> 企業会計, 政府会計, 非営利会計, 国民経済計算, 財務会計, 管理会計

問 2 (選択) . 以下の問いに全て答えなさい。

(1) 会計基準の設定方法に関して、原則主義および細則主義が、どのようなものか説明しなさい。なお、説明の際に、以下のキーワードを必ず使用すること。

<キーワード> 演繹的アプローチ, 帰納的アプローチ, 概念フレームワーク  
国際財務報告基準(IFRS), 企業会計原則, 企業会計基準

(2) 討議資料「財務報告の概念フレームワーク」に関して、財務報告の目的を達成するにあたり、会計情報に要求される質的特性を説明しなさい。

問 3 (選択) . リース会計に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 日本の現行の会計基準は、リース取引の本質をどのように考えているか、説明しなさい。

(2) 日本の現行の会計基準では、借手の立場を前提として、リース取引の開始時にどのような会計処理を行うのかを説明しなさい。

(3) リースの会計基準の改正が 2026 年に予定されている。新しい会計基準は、国際財務報告基準(IFRS)の主要な定めの内容を取り入れることとされているが、IFRS は、リース取引の本質をどのように考えているか、説明しなさい。

(4) IFRS では、借手の立場を前提として、リース取引の開始時にどのような会計処理を行うのかを説明しなさい。

## 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士前期

実施時期
春季

科目名
会計学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

次の問1～問3のうち、問1は必ず解答しなさい。また、問2および問3の中から1問を選択して解答しなさい。  
解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

問1(必答)．会計の目的ないし本質に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1)意思決定説がどのようなものか詳しく説明しなさい。
- (2)会計責任説がどのようなものか詳しく説明しなさい。

問2(選択)．株主資本等変動計算書に関して、以下の問いに全て答えなさい。

- (1)貸借対照表および損益計算書と株主資本等変動計算書との関係を説明しなさい。
- (2)株主資本等変動計算書が必要な理由を説明しなさい。
- (3)個別株主資本等変動計算書の記載範囲に関して、①純資産の部の全ての項目とする考え方と、②純資産の部のうち、株主資本のみとする考え方がある。これらの考え方を踏まえ、日本の会計基準で、株主資本等変動計算書がどのような表示方法となっているか説明しなさい。

問3(選択)．マテリアルフローコスト会計(MFCA)に関連する、以下の問いに全て答えなさい。

- (1)仕損、減損および副産物とは何か、説明しなさい。
- (2)総合原価計算において、仕損・減損・副産物はどのように処理されるか説明しなさい。
- (3)MFCAは何を目的として実施されるか、計算構造・特徴とともに説明しなさい。

# 2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
経済学	経済学	博士後期

実施時期
春季

科目名
英語

入試方式
一般入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は2枚、解答用紙は2枚です。

※解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を問題番号欄に記入すること。

問1. 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

以下、本文22行（非公開）
---------------

出典) Roger E. Backhouse and Bradley W. Bateman, *Capitalist Revolutionary*, Harvard University Press, 2011.

問2. 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

以下、本文25行（非公開）
---------------

出典) Asian Development Bank, *Asia's Journey to Prosperity: Policy, Market, and Technology over 50 Years*, 2020.